



からしだね

2014年
11月号 (499号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸神父・松本 一宏神父
協力司祭：デニス・マックゴワン神父
住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26
TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624
URL(ホームページ)：
http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



クロアチアのドゥブロヴニクにある聖ヴラホ教会

巻頭言	2	ガラスケースの言葉	2
大掃除・屋根掃除	3	典礼委員会から	3
ドレミの会からのお願い	3	財務からのお知らせ	4
バザー写真	5	黙想会のお知らせ	6
研修委員会から	6	香部屋の修理	6

表紙写真 撮影：延原泰子

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

御受難会韓国管区創立50周年に参加して

松本一宏 神父

御受難会の韓国管区創立50周年のお祝いとアジア太平洋地区の管区長会議のため、韓国に行ってきました。日本と同じシカゴ管区からの宣教で始まった兄弟のような管区でありながら、不思議とこれまで行く機会がなく、今回が初めての訪問となりました。

関空からのフライトは、ゆっくり眠る間もないような1時間半。空港では御受難会の信徒メンバーであるペトロさんと、サビーナさんという夫妻が待っていてくださり、インチョン空港からソウルの端っこのウイドンという地区にある黙想の家に車で向かったのですが、ソウルの中心を通ったために大渋滞に巻き込まれて、大阪ソウル間の飛行時間よりも長い2時間半。でも日本に住んでいたことがあるというお二人が、日本語でいろいろと説明してくださったので良い観光になりました。

今回はずっと訪ねたいと思っていたチョンジュ（清州）にある女子御受難会にも行くことができました。伝統的な観想生活を生きているシスターたちは、けっして出てくることなく、用事があるときは扉に付いている小窓を開けて話します。面談室で話すときも、シスターたちとの間には格子があって、なんだか変な感じがしました。でも10名のシスターたちは若く、明るく、生き生きとしていました。日本語を話すSr. グレースや、私の故郷である浦和に住んでいたことがある修練者のシスターもいて、たくさんお話することができました。実際に会うのは初めてでも、御受難会の兄弟姉妹として何年も共に歩んできたような深い交わりの時を持つことができました。暖かく迎えてくださったシスター方に感謝です。

そこからお祝いと会議の行われたクワンジュ（光州）の黙想の家へ移動しました。3名の司教様も列席のもと、多くの信徒の方も集まって管区創立50周年が盛大に祝われました。直前に行われた彼らの管区会議で、新たに選ばれた管区長であるポール・マリー・カン神父は作曲家でもあり、彼の指揮する聖歌隊が美しい歌声でミサを彩り、この日のために特別に制作されたアイコンが披露され、ミサ後には伝統舞踊や御受難会員たちの合唱等、とにかく盛りだくさんのお祝いとなりました。韓国に到着してから街で見かける十字架の数や、熱心な信徒の働きぶり、若い御受難会員の活気等に日本との違いを感じ、圧倒されっぱなしだった所に、良く準備されたミサやお祝いにとどめをさされた思いでした。

そんな中、ジョアキム総長のあいさつが心に残りました。今はこれほど成長している韓国管区も、始まりはシカゴ管区の6人の会員が神さまの促しに誠実に応えたことから始まった、立派な王国を作る必要はない、ただシンプルに小さいまま留まって、小さきうちに主の御受難を証ししていこう、というような内容でした。成長にはそれぞれのペースがあります。小さく見える日本の御受難会、日本の教会を通して神さまは確かに働いておられます。エネルギーに溢れる兄弟姉妹たちの姿に触れて、私たちに任されている働きを忠実に生きることを改めて振り返る旅となりました。

11月のガラスケースの言葉

神は恵みを注がれ、
地は豊かに実る。



(詩編 85:13)

大掃除 9月21日 屋根掃除 9月28日



典礼委員会から

11月2日(日)「死者の日」ミサ後、納骨室で納骨者のご遺族、関係者を対象とした追悼の祈り焼香をいたします。

(ご遺族、関係者の方々には納骨室管理委員会と典礼委員会連名でお言葉を送付しています。)

《ドレミの会》からのお願い

12月13日(土)ドレミの会のクリスマス会が行われます。
もしお家に眠っている小物がありましたら、プレゼント用にご寄付ください。
現在、34名のハンディーを持った方々が参加し、楽しい時間を過ごしています。
年齢は小学生から60代ですが、おもに20代、30代の方が多く、男女は半々です。
毎年皆様のお蔭で、豊かなプレゼントを用意することが出来、心から感謝しています。

カール記念館の1階和室に、ダンボールを用意いたしますので、お入れください。
よろしく願いいたします。

(ドレミの会 村嶋)

財務からのお知らせ

《節電頑張りました！》

からしだね8-9月号で、皆様に節電のお願いをいたしました。

その時の数値目標は、8～10月の電気代を昨年並みに抑えよう、つまり3パーセント弱の節電を頑張ろうということでした。

今月のからしだねに掲載するというお約束でしたので、集計いたしましたところ、実際の8～10月の電気代は376,197円で、これは昨年対比99.21パーセントでした。

つまり、昨年以下の電気代でこの夏を乗り切ったということです。(拍手！)

昨年来の値上げ、消費税の値上がりを考えると、これはとても嬉しい数字です。

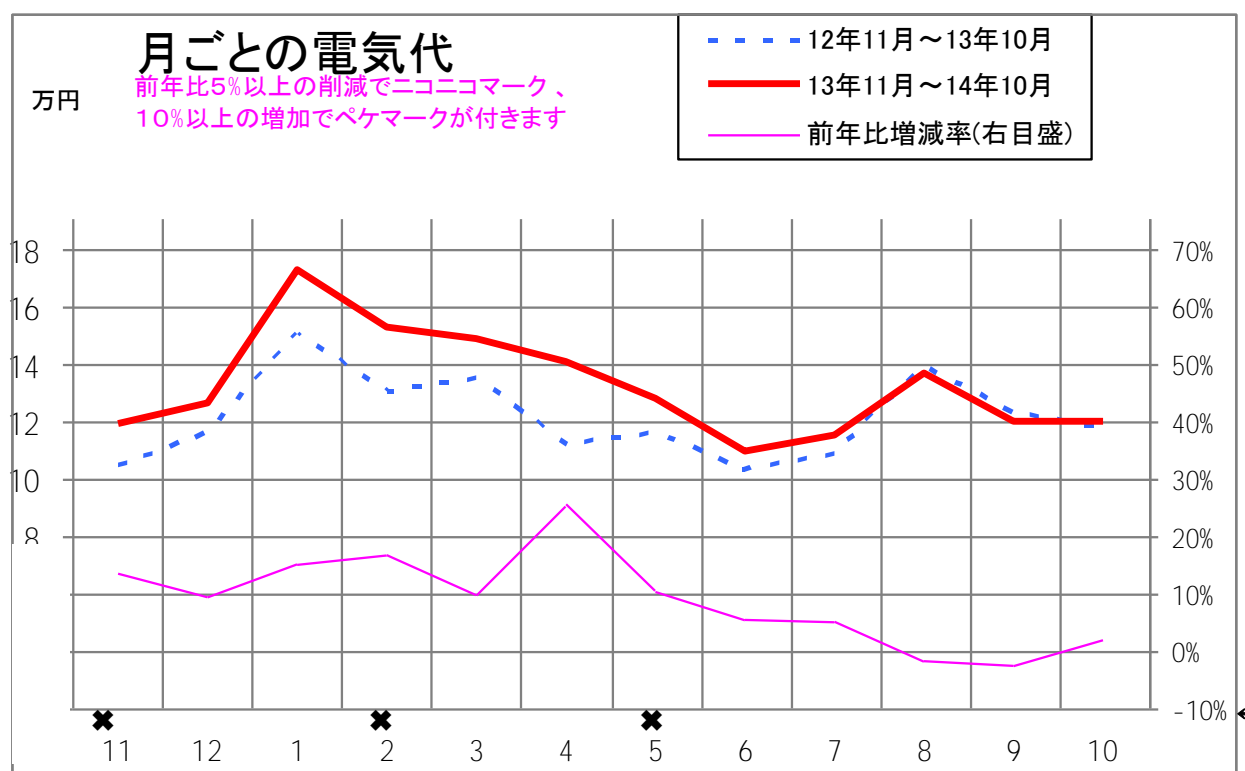
しかも、実は使用量では、8月が平均して10.4パーセント減、9月は12.9パーセント減、10月は8.9パーセント減とすべての月で削減されています。

今年は冷夏ではあったとはいえ、皆様それぞれが頑張ってくださいました結果だと思えます。

心から感謝いたします。

これからも、電気のつけっぱなしをしないなど、少しずつでも節電に努めたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

10月までの電気代の推移





バザー 10月19日



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

■ 日帰り黙想会

11月20日(木) 10:00～15:30

指導：山内十束神父

11月21日(金) 10:00～15:30

指導：山内十束神父

■ 一泊黙想会

11月・12月はありません。

※各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで



TEL. 0797-84-3111

研修委員会から

■ 平和体験を分かち合い、深める集い

対 象：高校生、大学生、社会人の青年

体験を語る人、聴く人、お集まりください

と き：2014年11月29日～30日

と ころ：小林聖心女子学院 ロザリオヒル

(詳しくは、聖堂入口のポスターをご覧ください。)



香部屋の修理

壁を塗り替えました。

床を張り替えました。

こんなにきれいになりました。

編集後記

夕方、日の暮れるのがはやくなりました。近所に公文教室があつて、こどもたちが大勢かよっています。信号待ちをしていると、教室の階段のかたわらにかたまりがあるので、よく見ると暗がりのなかで、10歳位の男の子とお母さんがだきあっています。階段の上に入った男の子が、お母さんの首に手をからませて、何か一生懸命にうたえています。お母さんは男の子のからだを抱きしめて、ただ黙ってじっと話を聞いています。顔と顔をくっつけて、せつせつとうたっているこどもと、お母さんをいつまでもみつめていたかったです。(まーちゃん)